

四季を通した子どもの読書普及活動及び 図書館利用の推進

山形県 寒河江市立図書館

基本データ

所在地	山形県寒河江市中央一丁目7-14
職員数	3人
うち司書数	1人
蔵書数	135,334冊
利用登録者数	14,029人
年間貸出冊数	141,843冊 (児童用図書貸出数 45,906冊)

テーマ・活動のねらい等

【テーマ】子供の読書啓発、子供に対するサービスの充実

【活動のねらい】

- 図書利用の拡大を図るためには、何より子どもの読書普及が重要と考えており、年間を通して、乳幼児・小学生・中学生等それぞれの年代の子どもの読書普及と図書館利用の推進を図るための読み語りや各種事業を展開している。

取組・活動の概要

- 6月「さくらんぼの都市（まち）さがえ全国俳句大会」、7月「読書講演会」、8月「図書館夏まつり」、10月「人形劇公演」、12月「図書館冬まつり」、等のイベントを実施。また日頃の取り組みとして、乳幼児を対象に定期的に行っている「ブックスタート」や「絵本の部屋（出張貸出し）」、図書館お話室での読み語りや幼稚園・小学校等での読み語りの実施について、市内ボランティア団体の全面的な協力を得ている。



ブックスタート

- 4月に投句の募集を開始し、6月末に「さくらんぼの都市（まち）さがえ全国俳句大会」を開催している。令和元年度は応募総数 4,351 句のうち、幼児、市内外小・中学生、高校生から 3,077 句もの応募があった。募集の際に市内俳句会の方が、一部学校に出向いての指導も行っている。



「さくらんぼの都市（まち）さがえ全国俳句大会」
子どもの部

- 7月に例年よりもスケールアップした内容で読書講演会を開催した。会場満席の親子が「室井滋・長谷川義史の絵本ライブ」の読み語りショーを楽しんだ。



室井滋・長谷川義史 絵本ライブ

- 図書館まつりを夏と冬に開催。「夏まつり」ではサイエンスショーなどのイベントや朗読会、「冬まつり」では市内各団体によるリレーおはなし会やビブリオバトルを開催。
- 特に、東北芸術工科大学との共同事業として、一般の方を対象に3年間実施してきた「ビブリオバトル」では、今回初めて「小学生の部」を設け、市内各小学校から集まった出場者がチャンプを目指し、書評対戦を繰り広げた。

取組・活動の工夫や特徴

- 当図書館は職員数も限られる中、市内のボランティア団体による多大なる奉仕に支えられて、上記の各種事業を実施している。
- また子どもの読書普及においては、各小中学校に配置されている読書活動推進員との連携を図るとともに、「さくらんぼの都市さがえ全国俳句大会」や「ビブリオバトル」等の募集においては各学校から事業周知等の協力を得て実施している。

取組・活動の成果や今後の展望

- 今回初めて実施した小学生の部の「ビブリオバトル」では、本好きな個性あふれる子どもがたくさんいることを改めて実感させられた。
- 普段出会わない他校の子どもたち、友人、親が詰めかける熱気あふれる会場で、堂々と自分の主張を発表したことはかけがえのない経験であり、これからの成長に大きく役立つものになると思われる。また事後に、この場で発表された本の多くが貸出されており、周囲の関心の高さも窺えた。
- 今後も、対象を中学・高校にも拡大して、児童・生徒の持つ可能性を引き出し活用しながら、読書普及と図書館利用の促進を図っていきたい。



ビブリオバトル（小学生の部）